



校長室だより

No.6

つなぐ

平成30年10月4日

校長 阿部修三

求める児童像

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○がんばりぬく子

## 運動会での「本気」の姿

台風の影響等による日程変更にもかかわらず、保護者の方々、地域の皆様のご理解、温かいご支援、ご協力のもと、本年度の運動会が無事終わりました。

子どもたちへの心温まる大きな声援、本当にありがとうございました。

このような大きな行事が盛大に開催できたことの幸せ、そして「地域の学校」としての存在意義を校長としてしみじみ感じています。



私は運動会の企画段階で、体育担当の教員はもちろん、全ての教職員に

「子どもが本気になって取り組む運動会にするように」とだけリクエストしました。その理由は2つです。

### (1) 成就感や達成感の本気で取り組まないと得られない

#### 教育活動の中で、子どもに大きな感動を味わせたかった

本番だけ全力でやろうとしても、力は出し切れません。本気で準備や練習をしていない人は、本番で100点の力を出し切ることができません。本気でない人は、1位になっても、チームが勝っても、心底喜ぶことはできません。

本気で準備や練習をしてきた人は、本番でも100点の力、時には120点以上の力を出すことがあります。たとえ失敗したとしても、負けてしまったとしても、本気で取り組み、最後まであきらめずに挑戦した人にこそ、大きな感動が得られると信じています。

### (2) 本気を出す人は工夫する

#### 一人ひとりが真剣に「考えて工夫する」ことで成長して欲しかった

練習を続けると、1位になれないかもしれない、勝てないかもしれないという見通しがついたり、失敗してしまうかもしれないと不安になったりすることがあります。本気の人には、そこから考えて工夫します。どうしたら勝てるかを友だちと作戦を立て、どうしたらよりよい演技ができるかを一人ひとりが考えるのです。そして、表現するのです。それこそ、価値ある「学び」なのです。

運動会は、運動が得意でない人も活躍するチャンスがある学校行事です。係の仕事を工夫して自分の役割を果たす、練習の時間をむだにしないよう時間の使い方を考えて行動するなど、運動会を成功させるために大切な活動です。

自分が輝く運動会にするには「今までの自分でいいのか?」「どこをどのように工夫すればいいのか?」・・・運動会の取組を通してそれを本気で考え、実行・努力した人に「成長した」姿が見られるのだと信じています。

運動会は、子どもにとっては保護者のみならず、ご親戚、近所の方々からの励ましや期待の声を背にして自分を精一杯表現する、年に一度の絶好の機会です。一方、教職員にとってのこの1カ月間は、クラスの子や担当した係の子への指導によって、一人一人のよさや可能性を見つけ、引き出し、表現させる貴重な時間でした。

開会式、徒競走、表現、団体競技、応援合戦、そして閉会式後の解団式・・・様々なシーンで子どもたちが見せた笑顔と涙・・・見事でした。感動しました。誇らしく思いました。

それがこの1カ月の子どもの成長の姿であり、本校教職員の本気の指導による成果なのだと思います。津留小学校の子どもは、また少し成長しました。そしてまだまだ成長を続けます。